

# 山口県感染症発生週報 (第28週:平成25年7月8日～7月14日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

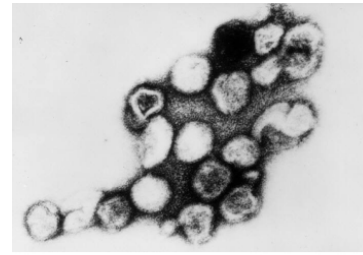
- ・結核: 27週追加 1例(岩国)。  
28週 3例(周南1、防府1、宇部1)。

### 【3類感染症】

- ・腸管出血性大腸菌感染症: 4例(下関4、O157 VT1VT2)。

### 【5類感染症】

- ・風しん: 3例(下関20歳代女性、下関20歳代男性、周南40歳代男性)。平成25年の山口県内累計は21例です。全国的には、5月をピークに減少していますが、依然として多数の患者報告が続いています。(第27週までの累計は12,469例)。



風しんウイルス  
CDC/ Dr. Erskine Palmer

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ・手足口病: すべての地域で警報レベルが続いています。宇部では26週をピークに減少傾向がみられますが、多くの地域では増加が続いており、注意が必要です。[警報レベル:山口(4週目)、萩(4週目)、防府(5週目)、周南(3週目)、下関(3週目)、柳井(2週目)、岩国(4週目)、長門(3週目)、宇部(5週目)]\*
- ・ヘルパンギーナ: 長門で警報レベルが続いており、山口でもやや多くみられます。県全体の報告数はやや減少しました。[警報レベル:長門(9週目)]\*
- ・流行性耳下腺炎: 萩で注意報レベルとなりました。[注意報レベル:萩(1週目)]\*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuuiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	26週	27週	28週	疾患名	26週	27週	28週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	9	7	13	ヘルパンギーナ	164	187	180
咽頭結膜熱	13	26	18	流行性耳下腺炎	10	7	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	112	99	85	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	173	193	165	流行性角結膜炎	2	0	0
水痘	33	43	36	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	452	609	806	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	2	0	3	マイコプラズマ肺炎	1	1	1
突発性発しん	47	35	27	無菌性髄膜炎	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	1	2	0	5	0	0	5	0	0	13
咽頭結膜熱	8	1	0	5	1	3	0	0	0	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	1	10	11	3	44	6	1	3	85
感染性胃腸炎	19	7	1	49	14	25	28	9	13	165
水痘	5	7	0	3	2	2	13	3	1	36
手足口病	177	43	50	187	78	139	60	17	55	806
伝染性紅斑	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
突発性発しん	4	2	3	7	0	4	2	2	3	27
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	45	3	3	34	3	25	30	35	2	180
流行性耳下腺炎	3	1	0	0	1	2	0	0	7	14
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0